

『緩和ケア』 研修会実施報告

日時 : 令和3年12月16日(木) 13時15分～17時15分

対象者 : 全体研修

参加者数 : 8名

目標 : 一般病棟における緩和ケアの重要性を理解し、がん患者と家族を全人的にとらえ
ケア実践につなげることができる

<講師の紹介>

緩和ケア認定看護師

5階病棟

H 係長



<内容>



当院の緩和ケア認定看護師であるH係長に講義して頂きました。最初に、緩和ケアについて6W1Hの視点からお話がありました。緩和ケアは誰に届け、何をするのか、なぜ必要なのか、いつ、どこで、誰が、どのように緩和ケアを行うのかを丁寧に説明して頂きました。早期からの緩和ケアとは、がんと告知されたとき、患者さんとご家族の感情に配慮しつつ説明を行うことも緩和ケアの要素であり、「病気かもしれない」と思って受診したときの不安への対処も重要なポイントであると学びました。また、

がん疼痛に対してはがん疼痛のアセスメント方法、がん疼痛のメカニズム、疼痛マネジメントの基本、レスキューについて、とても分かりやすくご講義して頂きました。意志決定支援やコミュニケーションスキルについても実例を交えながら話して頂き、日々のケアをふり返る機会となりました。最後に、事例から「どのような声かけをし、どのようなことを聴き、痛みのアセスメントを進めていくか」について皆で考え、意見を発表してもらいました。緩和ケアは患者・家族一人ひとりに寄り添い、その人が何を望むかを考え、苦痛を予防し和らげることが大切であるという事を学びました。今回の学びを日々のケアにいかしていきましょう。